

ちば通研だより No.504

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所：〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX：043-247-1201 E-Mail：syuwa@nifty.com URL：<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

2025年度 定期総会・ちば通研講座

～ハイブリッドで開催します～

いよいよ2025年度のスタートです！今年の11月にはいよいよデフリンピックが開催されます。今回の総会も会員の皆さまの声を直接お聞きするため、昨年と同様に対面式とオンラインにより定期総会を開催します。

会員の皆さまから、ちば通研に対してやってほしいことやご意見などを、直接発言できる機会です。ぜひ、誘い合って参加してください！

「全員集合・全員主役・全員笑顔」

<定期総会>

日時：2025年4月20日(日) 10:00～12:00

会場：千葉聴覚障害者センター3階多目的ホール(予定)

+オンライン



<ちば通研講座>

日時：2025年4月20日(日) 13:30～15:30

会場：千葉聴覚障害者センター3階多目的ホール(予定)+オンライン

講師：南村 洋子 氏 「きこえない子を育て関わって、今、思うこと」

参加費：会員・きこえない人は無料、一般は2,000円(口座振込で)



※当日会費を払ってくださった方は会員扱いとします。

この機会にぜひ会員になりましょう！

2月25日時点でのちば通研の会員数は328人

(読者会員会員数は15人)

2024年度の目標数は330人です

数は力！みんなで会員を増やしましょう～



地域班会議 報告

2月23日(日)、9時30分から12時20分までオンラインにて地域班会議を開催しました。参加者は17地域班17人(1人兼)、役員14人でした。

主な議題は、会員拡大、地区講座と地域班学習会の報告、安否確認訓練について、2025年定期総会についてでした。

11時からはブレイクアウトルームを使って地区別会議を行いました。会議では、地域班の取り組みについて、4月20日の定期総会とちば通研講座の集団視聴について、2025年度地区講座についての3つを中心に協議しました。

また、具体的な取組の話し合いでは、地域における災害対策について、デフリンピック気運醸成について、会員の高齢化等将来に向けた会員拡大のための課題について話し合ってもらいました。

多くの参加の下、無事に2024年度最後の地域班会議を終了しました。

次回は、6月1日(日)、新しいメンバーで対面での地域班会議を予定しております。ご参加をお待ちしております。(組織部 宮下 栄子)

地域班会議 感想

2024年度、船橋班として地域班会議に参加し、色々な地域でさまざまな活動が行われていることを知ることができました。また、どこの地域でも同じような問題を抱えていることも知り、自分の班でも今後どうしていったら良いのかと考えるきっかけを与えてもらいました。通研のメンバーは、サークル員であり登録通訳者であるため、当然市内の活動に参加はしているのですが、「通研として何をやっているのか？」となると、明確には答えられません。2025年度は、通研として何かに取り組めるよう前向きに検討していけたらと思います。また「手話通訳問題研究会」という言葉のために、入会を尻込みしてしまうサークル員などに、もっと気楽に入会し、一緒に学んでいこう、活動していこうという気持ちをもってもらえるよう、啓発活動も進めたいと思いました。(船橋班 澤本 啓子)

2月23日の地域班会議にオンラインで参加しました。機械にうとくミュートの解除にも手間取る始末…でもいつも「参加して良かった」と思います。班長になる前は何もわからず活動参加も少なかったのが気付くことがたくさんあります。今回の気付きは…他の地域では手話言語条例制定にむけ活動が活発になっていること(私の地域はまだまだだなあ)、地区講座の内容の奥深い事(勉強不足、もっと地域の聞こえない方の声を聞かなくちゃ)、案外パソコン操作など大変な班もあるのね(私だけじゃない!)等々。そして何より大切なのは自分の不安や疑問を聞ける場所があるということ、教えてくださる人たちがいるという安心感、これは何物にも変えられないものです。「活動参加できなくてすみません」と言う班員がいますが「私も同じ、でも通研の仲間と一緒に進みましょう」と伝えたいと思っています。

(わかしお班 久我 和恵)

地区講座(中央)報告

2月22日(土)10時～12時、千葉市中央コミュニティセンター6階講習室5において、中央の地区講座が開催されました。参加者は個人視聴を含めて23人でした。



講師は、ちば通研ろう教育班班長の上条文裕氏。「ろう教育の現状」というテーマで、欧米や日本のろう教育の歴史を辿りながら、千葉聾学校の教育の変遷をお話ししていただきました。

きこえない方から、ご自身のインテグレーションの経験をお聞きする機会にも恵まれました。「ろう学校と地域の学校、両方の学校で学ぶ経験をしたからこそ、『聞こえない私たちに手話は絶対に必要!』ということが分かった」というお話に、アイデンティティ形成に言葉がいかに重要かを、改めて考えさせられました。(副会長 高橋 悦子)

地区講座(中央)に参加して

今回、改めて、ろう教育の歴史について学習することができました。特に、ヨーロッパ古代中世の時代から現在のインクルーシブ教育まで、数々の変革を経て今日に至る事に感動しました。これからもまだまだ変わっていきたくらいと思いました。



そして、ろう学校への入学者数が減っていることは聞いていましたが、まさかこんなに減っているとは…。

これからは、ろう教育のセンター的役割として発展していくのだろうと感じました。(千葉市班 塚田 みどり)

井出さん交通事故死訴訟「逸失利益」は健常者と同額 大阪高裁判決が確定!

大阪市の路上で2018年、重機にはねられ死亡した生野聴覚支援学校小学部5年の井出安優香さん(当時11)の遺族が、運転手側に損害賠償を求めた訴訟で、生涯を通して得られたはずの収入見込額「逸失利益」をきこえる子どもと同等と判断した二審の大阪高裁判決が確定しました。障害児の逸失利益を減額しない司法判断は初で、「障害を持っている人やその家族にすごく勇気を与えた結果だ」と大阪聴覚障害者協会長の長宗氏が強調した。大阪高裁は井出さんは聴覚障害があっても健常者に劣らない能力を発揮できたと認定。「2018年の全労働者の平均賃金から減額する理由はない」として一審判決を変更し、きこえる子どもと同じ基準で算定した計約4365万円の支払いを被告側に命じました。弁護団の声明では「二審の判決は、差別を許さない『あるべき社会』の実現に向けて重要なメッセージを社会に投げかけました。安優香さんが11年間、懸命に生きた証しであり、両親をはじめとする家族の深い愛情があったからこそと考えています」としています。そのうえで「裁判所や弁護士など、障害者の逸失利益の算定に関わるすべての人がこの判決の意義や趣旨を深く理解し、『障害があるから当然に逸失利益を減額する』という差別的な取り扱いを改めることを強く願います」としています。※「 」は、ニュース等より引用(広報部員 齋藤 小百合)

事務局からのお願い

1 ちば通研だよりはスマホ・パソコンから見られます

郵送料金、用紙代の高騰のため、ちば通研予算がひっ迫しております。関東でも支部相互の機関紙については、現在、データ配信に切り替えました。

データ配信は、いつでもどこでも見られるメリットがあるため、データ配信を希望される人もいますし、操作に不慣れであるためにこれまでと同様に紙ベースで読みたいという人もいるのが現状かと思えます。

しかし郵送料金、用紙代の値上がりを考え、ちば通研ではデータ配信への切り替えを引き続きお願いしていきたいと考えております。

現在、84 人の方がデータ配信を利用されています。

データ配信を希望される場合は、毎月の「ちば通研だより」はホームページの会員専用ページ「広報」を見ることとなります。紙ベースでは白黒ですが、ホームページ上ではカラーで見ることができます。「色鮮やかでハッキリと見える」と皆さまから好評を得ています。

データ配信を希望される会員をさらに募集します。こちらの QR コードから手続きをお願いします。



2 2025 年度会費の受付を始めます

インフルエンザ等の感染症がまだ流行っております。皆さま、体調管理に注意して、無理をなさらずにお過ごしください。

さて、ちば通研では 2025 年度の会費の受付を始めます。できる限りゆうちょ銀行への振込みをお願いします。

地域班で取りまとめて振り込んでくださっても大丈夫です。この場合は、全員のお名前を記載していただくようお願いいたします。

また、新会員さんへの呼びかけもお願いします。ホームページの「入会案内」をクリックして「パンフレットのダウンロード」から、案内チラシをご活用ください。

新年度のスタートを機会に一緒に活動し学びあえる新しい仲間を増やしましょう。目標の会員数は 350 人です。「数は力」、継続会員を基本にこの目標を達成するために、ぜひお声がけください。

会員には、全通研本部から年 4 回の「手話通訳問題研究」の機関誌が届きます。また、サマーフォーラムをはじめ各種の学習会に参加できます。

ちば通研からは毎月「ちば通研だより」をお届けしております。また、会員の皆さまに満足していただけるような講座の企画や各専門班による学習会を開催しています。きこえない人や手話に関する情報がほしい人、きこえない人といっしょに活動してみたい人などと一緒になって前に進んでいきたいと考えております。

会費の納入は 5 月までをお願いします。それを過ぎると、ちば通研だより 6 月号からの配布が止まり、「手話通訳問題研究」の機関誌も届かなくなります。早めの会費納入をお願いします。

(事務局長 折原 由紀子)

新シリーズ 「福祉の現場を経験して しろろが語る！」

飯泉よし江さんの「ろう重複者とともによしえが語る！」を12回のシリーズとして無事に皆さまにお届けすることができました。飯泉さんがこれまで活動されてきたろう重複運動について、ほんの一部でしたが知ることができたのではないのでしょうか。飯泉さん、本当にお疲れ様でした。そして、ありがとうございました。

さて、第5弾目の新シリーズには、ちば通研の事務局長を長い間担っていただきました黒岩史郎さんに登場してもらいます。その後は、県の職員として福祉行政や議会事務局などを歴任されました。特別支援学校の事務長としての勤務もあり、福祉や教育に対して豊富な経験をされてきた人です。

地元鎌ヶ谷では、「あおぞらの会」の理事長さんとして長くグループホームの運営に携わってこられました。また、鎌ヶ谷市地域自立支援協議会の会長を7年間担当しました。その幅広い経験の中で培われた福祉制度のあれこれについて分かりやすく語っていただきたいと思います、企画しました。

大変お忙しい中、黒岩さんと広報部との事前の打合せを2回ほど行い、執筆する内容を依頼させていただきました。

皆さんに、もっと福祉制度について理解を深めてもらい、ちば通研の50周年に向けて、新たな行動を起こしてほしいと願っています。新シリーズにご期待ください。
(広報部長 渡辺 正夫)

2025年度 役員・監査及び代議員選挙告示 (ちば通研 選挙管理委員会)

「全国手話通訳問題研究会定款」及び「全国手話通訳問題研究会千葉県支部 代議員選挙規則」に基づき、千葉県支部役員・監査及び代議員を4月の定期総会で選出します。

代議員立候補資格は会員全員にありますが、ちば通研の役員選挙の年なので、千葉県手話通訳問題研究会会則により、代議員になるためにはちば通研の役員であることが条件となります。なお、定数に満たない場合は、選挙を行いません。

2025年度の代議員会は、5月24日(土)・25日(日)に開催する予定です。

- 定 数** : 役員・監査 25人 代議員 4人
立候補期間 : 2025年3月8日(土)から3月21日(金)まで
立候補届出 : 指定の様式(ちば通研事務所に連絡ください)
届 け 先 : 選挙管理委員会 FAX: 043-247-1201(早朝・深夜不可)
メール: syuwa@nifty.com
選挙管理委員会 : 伊奈委員長(千葉市班)、
小野崎委員(佐倉班)、玉城委員(六つ星班)

「ろう重複者とともに よしえが語る！」 Vol.12

「これからも応援していきましょう」

(家族会 村山 さと枝)

ずっと、「よしえが語る」を皆さまには読んでいただきました。私は、「らいおん神明」に通う息子をもつ保護者の一人として彼女のやってきたことを少し書かせていただくことにしました。

まず千葉県ろう重複障害者をつくる会（以降「つくる会」）の立ち上げ時、彼女はちば通研の運営委員長でした。そのため自動的につくる会の理事になりました。つくる会では事務局長となり、仲間、家族や手話サークルの人たちとの交流会の企画運営に大活躍しました。九十九里の太陽の郷、鴨川青年の家等での交流会があり、また、秋には芋ほりに参加したことを覚えています。これらの企画のためのボランティアを募り、ボランティアと仲間とのかかわり方の勉強会などに尽力してくれました。仲間を大切にしている彼女は、当日、積極的に仲間の中に入って交流をしていた姿が印象に残っています。

情報提供施設後援会とつくる会との合併の話が出た時も、千葉市の設置の仕事が終わってセンターに駆け付けていたのだと聞きました。調整のための話し合いを続けた結果、きこえない人たちの福祉向上を目指す社会福祉法人千葉県聴覚障害者協会後援会（以降「後援会」）となり、新たな出発をしました。ここでも事務局長として2024（令和6）年5月まで、合わせて約20年間、頑張ってくれました。良くやるなと傍観しつつ感謝の気持ちでいっぱいでした。本当にお疲れ様でした。

ろう重複の息子を持つ親としては、本当に感謝感謝です。息子は視力が悪くなってきて、仕事を辞めざるを得なかった時に「らいおん工房」ができ、毎日通える場所ができました。どんなに心強く感じたことでしょうか。まだ年齢的にも若かったので、家でぶらぶらされても思っていましたので、好きなことができる場所、手話で話せる場所があったことが、彼を自律できるように導いてくれたのだと思います。現在は、視力も落ちてしまい「らいおん神明」へ変わりました。

今後は本当に親亡き後の施設がもっと欲しいと願うのは、他の家族の方も同じ思いではないでしょうか？

皆さんに助けていただかなければなりません。資金を集めるのが後援会の目的ですが、よりよい施設建設運営がされるよう、もっともっと千葉聴覚障害者センターの事業をバックアップしていただきたいと思います。

.....

このシリーズを終えるに当たり、皆さまから多大なるご協力を得ましたこと、心より感謝申し上げます。微力ではありますが、今後も千葉県聴覚障害者協会後援会を応援していきたいと強く思っております。皆さまにおかれましても、今まで以上にお力添えをお願いする次第です。一年間、お付き合いいただきまして、本当にありがとうございました。

(飯泉 よし江)

おしまい



医療班コーナー

診療放射線技師のお仕事

以前は「レントゲン技師」と言いましたが、現在は「診療放射線技師」と言います。
「放射線」は使い方を間違えると、人体に悪影響が出ます。
この「放射線」を使って検査できるのは、医師と診療放射線技師だけです。

●診療放射線技師が携わる診療

- ・ 一般撮影（胸や骨などのレントゲン検査）
- ・ CT 検査
- ・ MRI 検査
- ・ X線TV（胃のバリウム検査など）
- ・ DEXA（デキサ）検査（放射線を使った骨密度測定）
- ・ 血管造影検査・治療
- ・ 核医学検査、PET 検査
- ・ エコー検査
- ・ 無散瞳眼底カメラ
- ・ 放射線治療

以前は、上記のような直接患者にかかわる仕事だけでした。

最近では検査で使用する放射線の量が適切か、自分たちは多く被ばくをしていないか、使用する検査機器の正常動作の確認など、管理業務も行います。

診療放射線技師は写真を撮るだけの「カメラ屋」ではなく、画像を見て異常を見分ける知識も必要で、医師から画像診断の意見を求められることもあります。

また、各検査に特化した「専門技師」の資格を取得する人もいます。

例 CT 専門技師、MRI 専門技師、放射線治療専門技師 など

診療放射線技師になるには、専門学校（3年）または、大学（4年）を卒業し国家試験に合格する必要があります。座学の外に、一定期間病院でスタッフや患者に接しながら学ぶ「臨床実習」があります。

大学病院や総合病院などでは「実習生」がいることがありますので、是非あたたかい目で見守ってください。

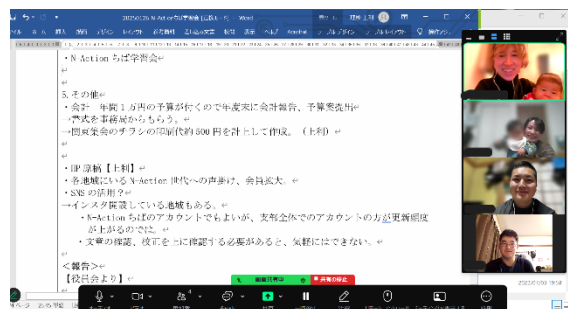
卒業後は医療機関に勤務する人がほとんどですが、放射線検査機器関連会社に就職したり、大学院に進み研究職に就く人もいます。

つづきは 医療班出前講座で！

N-Action エヌアクション ちばのページ

N-Action ちば 学習会

1月26日(日) 20:00~21:00にZoomミーティングルームで学習会を行いました。議案書の確認、代表について、青年部や他県のN-Action世代との連携・交流について話し合いました。小さい子供がいても参加できるオンラインの良さを実感しました。



次回は4月27日(日)の予定です。

N-Action 合宿 in 鳥取

2月15~16日にN-Action合宿が開催されました。残念ながら千葉からの参加者はいませんでした。「1日のみの参加可能」「入門講座と分科会どちらか選べる」「託児サービス付き」という初の試みがいくつかなされたそうです。当日の様子は全通研N-Action委員からの報告をお楽しみに。

(N-Action ちば代表 上利 理紗)



No.9

わっこ (矢吹和夏子) 今月のオススメ!



『HELLO むこうの私』 500円

京都向日(むこう)市が発行している本です。手話を始めたばかりの方、そして勉強中の方にも是非手に取っていただきたい1冊です。耳が聞こえない、聞こえにくいってどんな事かがマンガで掲載されているのでわかりやすく説明されています。サークルや手話の勉強会で活用できると思います。そして手話を知らない方に興味を持っていただけるきっかけになってもらえると思います。

今年は「サマーフォーラム」が京都で開催されます。後編には向日市のガイドも掲載されているので参加される方には立ち寄ってみるのも良い機会ではと思っています。歴史と文化のあふれる向日市に私もいつか行きたいと思っています。

申込は、ちば通研事務所まで アドレス syuwa@nifty.com

◎ちば通研では書籍等で販売による売り上げの一部をちば通研の活動に充てています。

ぜひ、ちば通研から書籍等を購入して下さるようお願い致します。

少しお時間が掛かり待ち遠しい気分ですが、ワクワクしている時間も大切です。



私のイチオシ

…流山班…

今回は、「お買い物、どこでしてるか」で、班員に大募集しましたが、あまり集まらず…みんな買い物してないのかなあ。自給自足か？(笑)

(…と言ったら2人追加が来た、ありがとう。)

浅賀鶏肉店

埼玉県秩父市にある、チキンカツや唐揚げがおいしいお店です。昔、鶏肉が苦手だった頃、鶏肉が食べられるようになったきっかけのお店で、いつも行列ができていたのが懐かしく思い出されます。店主さんの代替りで、両手のひらを並べたような大きなチキンカツは、もうなくなってしまったかなあ…。(Hisako)

生活クラブ生協・パルシステム・らでいっしゅぼーやの、宅配が中心。

あとは、近所のヨーカドー。

生協関係は、長男が生まれたころに入ったので、かれこれ30年ちょっと。仕事の後保育園に迎えに行って早く寝せるのに買い物なんていう時間はなかったし、小さい子を買い物に連れて行ってぐずらせるのも避けたかったし、化学物質に過敏になりそうだったので、余計な添加物のないものを求めたということもあり。子どもたちが大きくなったら、ヨーカドーでも買うことが増えました。でも全国的に閉店が続き、ヒヤヒヤしています。(emiko)

ペストリーうんてん洋菓子店四ツ谷スイーツカフェ

四ツ谷駅から徒歩10分のところにある私のお気に入りのお菓子屋さん「うんてん洋菓子店」このお菓子屋さんは食べる人と地球環境や農家の方々に配慮して関わる人みんなが嬉しい気持ちになれるようなお菓子作り「うれしい」がめぐるお菓子”をコンセプトにしたお菓子です。中でもイチオシの商品は「めぐるクッキー きび砂糖」です。味はもちろん。きび砂糖のかりかりとした食感が良く、ついつい2枚3枚と食べたくなるクッキーです。オンラインショップもあるので、是非手に取って見てください。(S.Y)

南流山6丁目にあるNマンションの商店街にある田中青果店です。

数年前から無人販売を始めました。野菜や果物は新鮮でおいしくお値段もお手頃です。そこで販売している野田で作っている玄米味噌がおいしく我が家のお味噌汁には欠かせません。品切れの時もあったので今は予約しています。(G)

…というわけで、新しく流山班に入っていた方に、メッセージをいただきました。

2024年手話の勉強を再開しました。養成講座に通い千通研・地域班に入り、サークルにも入りました。新しい出逢いに日々感謝です。これからも楽しんで手話を学んでいきたいです。(Y.S)

地 域 班 通 信

船橋班：1月11日(土)船橋市生涯スポーツ課の主催で、デフスポーツ講演会がありました。講師は、デフバレーボール男子日本代表監督の村井貴行氏。村井氏は船橋市の市立小学校の教諭です。バレーボールの試合での裏話を交えた楽しくわかりやすいお話でした。たくさんの人に関心をもってもらえるといいと思いました。(O)

印西班：まだ寒い日が続きますが、もう花粉が飛びはじめたとか、テレビで言っていました。春は待ち遠しいけど、花粉は困る。最近は症状は軽くなりましたが、洗濯物は室内干しです。マスク、手洗い、うがいで、インフルエンザや風邪の予防もしっかりやっています。膝痛はありますが、桜が咲いたら、花見に行きたいなあ。(Y.H.)

白井班：2月2日(日)総合公園で極寒雨の中、企業、団体、自衛隊、消防署、消防団、警察、中高生、住民などの協力のもと今までにない規模で防災訓練を行いました。手話通訳の情報保障もあり聴覚障害者協会の方の参加もありました。体験ブース案内は手話サークル員の協力を受け、実際に参加して課題も見つかりました。今後は協会、通研、手話サークルで連携をとって参加したいです。(S)

成田班：私の住む成田では、毎年、成田山新勝寺に、力士や大河ドラマの出演者が来て、節分豆まきが行われます。今年は、渡辺謙さん、横浜流星さん、大関の大の里さん、市川團十郎白猿さんらが来ました。当日はもの凄い人なので大昔に1回行ったっきりですが、来年は行ってみようかな～♪

八街班：最近オンラインで講演に参加する事ができ便利になりました。先日、東総地区講座が八街で行われました。ポケットWi-Fiをレンタルして準備をしているとなんと、圏外！開始時間が迫って焦る。念のためと新人の班員が持っていたWi-Fiを借りて事なきを得ました。開始時間が遅れてご迷惑をおかけしました。便利の裏には組織部のNさんや皆様のご尽力があつてのことだと改めて感謝しています。

海匠地域班：11月15日(土)から、いよいよ「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」(略称)東京2025デフリンピックが始まります。日本で見られる大会は、この機会を逃したら見られないかも？1人では、なかなか行けません。なんと、地域ろう協の発案で、一緒に見に行こう！という、企画が出ているようです。楽しみです。

わかしお班：この季節になると、花粉症で辛い思いをしている方も沢山いらっしゃると思います。私もその一人、しかし、今年はちょっと違います。1月に副鼻腔炎で耳鼻科受診。医師より鼻洗浄を推奨され毎晩実行しています。これにより、副鼻腔炎は軽快、花粉症の症状無し。薬の服用もありません。このまま落ち着いていてくれると嬉しい限りです。(Y.U.)

富里班：今年の元旦、息子3人の家族が帰省しました。普段は、それぞれ栃木、宮城、埼玉で暮らしているので、全員揃うことが殆どありません。総勢12人を迎えて、孫たちの成長に目を細め、みんな元気であることに感謝し、とても賑やかで幸せな時間でした。同時に、何日でもいて欲しいけど、私の身体が持ちそうもなく、年齢には勝てないことを実感したお正月でした。

鎌ヶ谷班：お正月明けに、たくさんの蕾がついた白木蓮の小枝を友人からいただきました。暖かい部屋に置いたら咲きますよと言われたので、玄関にいけてみました。あれから1ヶ月、我が家の玄関は少し寒いのかまだ咲きません。でも蕾が大分膨らんできたのでもう少しで咲くかしら？ 毎日楽しみに眺めています。(N.F.)

千葉市班：今年に入ってから、小学校6年4組の同窓会のお知らせが届きました。迷って出したハガキの返事、参加者8名。なんと！男性7名・・・私一人？・・・女子は嫁いで地元にはいないのか？ はたまた興味ないのか？ 半世紀以上経ったおじ様方にどんな会話をすればよいのか？ 悩んでいるうちに時間だけが過ぎていく～

六つ星班：寒さが厳しくなってきた、今日この頃。毎夜息子を寝かし付ける時に話す、主人オリジナルストーリーを秘かに楽しみにしている。(本人には言わないが)ただ、笑ってしまう話もあり、『寝かし付ける気があるの？』と私がツッコミを入れる時も屢々。そんなやり取りを嬉しそうに眺め眠りにつく息子の寝顔を見ると、【もっと頑張ろう！】と気合いが入る。

流山班：調べものをしていたら、日本会議通訳者協会のホームページの、川根紀夫さんの原稿にたどり着いた。改めて読んでみて、自分の浅さを痛感し、また、学生時代から尊敬する川根ファミリーへの思いがよみがえり、私はあとどのくらい頑張れるだろう、若いうちにもっとすべきことはあったのではないか、病気をしていた期間が恨めしくさえ感じました。

八千代班：2月1日(土)アイラブ八千代主催の「手話まつり」が行われた。ショッピングモールの広場を借りての開催で、多くの買い物客が立ち止まって見てくれた。2度目となる今回は、新たに手話劇「おおきなかぶ」を上演。みんなでタイミングを合わせてかぶをぬく難しさをコミカルに演じて大盛況だった。

習志野班：先日仕事帰りに黄梅を見かけました。日差しが柔らかく春が近くに来ているようで嬉しくなりましたが、次の日からの寒波で「春よ来い」の童謡を思い出しました。今は知らない人が多いのでしょうか！！ ♪春よ来い～はやく来い・・・♪

市原班：地域の勉強会で事前学習の方法を教えていただき実践中です。他にも様々な事例など、先輩方から教えていただける機会を大切に、できることからコツコツと積み重ねていきたいです。

市川班：1月後半から3月前半はお値段的にも混雑的にも（スキー場近辺は除く）旅行に行くいい機会なのですが、連日残業が続き旅行に行けそうもなくどうしようか悩んでいたところ、温泉の元（入浴剤）にはまってしまい、時には贅沢な食材とお酒を用意して（ちょっと寂しい気もしますが）お風呂で温泉旅行気分を味わっています。特ににごり湯の元がお勧めです。

松戸班：今回は、自称「撮り鉄乗り鉄オタク！」活動歴40年のろう者Sさんに講演いただきました。こだわりのアングルを撮るには、時間場所天気等、条件が揃うのは難しく何度も足を運んだ様子や、人気スポットは混み合う為、撮り鉄同士協力して、互いにベストショットをねらう様子等々、撮影秘話の数々。魅力的な手話、豊かな表情は臨場感があり、苦労話なのに何故か皆の笑いを誘ってしまう、楽しいお話でした。撮り溜めてきたご自慢の写真は四季折々、1枚1枚本当に美しく、最後に披露された「お召し列車」は天皇陛下と雅子様をバッチリ正面から撮影！ 本当に本当に「お見事！」でした。Sさん楽しいお話をありがとうございました。(S)

東京2025デフリンピック マラソン会場等が決定！
～マラソンは「東京高速道路・首都高速道路高速八重洲線の一部」で実施！～

デフリンピックのマラソン種目については、東京高速道路（以下「KK線」という。）と首都高速道路高速八重洲線（以下「高速八重洲線」という。）の新橋から汐留JCT間を使用した周回コースを予定しています。陸上の花は何と言ってもマラソンですね。マラソン実施日は、閉会式前日の2025年11月25日（火）に実施される予定です。また、東京都内で行われる競技会場及び練習会場についても発表されました。

競技会場に関する情報は、東京2025デフリンピック大会
情報ポータルサイトに掲載しています。

（右記二次元バーコード参照）

日本で行われるデフリンピック、みんなで応援しましょう！！



役員短報

日時：2月23日（日） 13:00-18:30

会場：オンライン

参加者：15人

<主な議題>

○三役

- ・耳の日まつりの販売および担当決め
書籍、佃煮、オリジナル缶バッジ、キーホルダーを販売
- ・議案書の読み合わせ

○広報部

- ・3月号掲載記事の確認
- ・4月号の記載内容の確認

○組織部

- ・会員拡大 328人（2月25日現在）
 - ・地区講座がすべて終了
申込とアンケートフォームの作成について検討
 - ・地域班会議からの意見を協議
 - ・定期総会の運営について確認
ハイブリッドで開催
採決方法について確認
役員選挙があり、ちば通研だより3月号に掲載して会員へ周知
 - ・ちば通研講座 事務局長が南村洋子氏と連絡調整する
 - ・災害対応についての連絡・報告のやり方を見直す
 - ・デフリンピック
一般市民にも広げる活動にしていく
- ICT ちば
- ・担当組織の見直し
 - ・協議内容については継続

<部・班の報告>

○広報部

- ・3月号は14ページ編成で作成
- ・4月号から新シリーズ開始
「福祉の現場を通して しろうが語る！」飯泉さんから黒岩さんへ

○医療班

- ・耳の日まつりの際に健康相談コーナーを設置
- ・出前講座
3月9日（日）13:30から
山武市成東文化会館のぎくプラザ

○健康対策班

- ・2月17日（月） 班学習会
- ・2月22日（土） 健康フォーラム in 岡山に参加
- ・8月2日（土）健康対策班として講演会を企画。

○楽しく未来社会学習班

- ・3月22日（土） 班学習会

○事務局

- ・2月1日（土） 会計の中間監査

○後援会

- ・耳の日まつりにて、オリジナルクッキーや干しイモなどを販売

○関東手話通訳問題研究会

- ・1月26日（日） 午前の支部代表者会議と午後の広報担当者会議にちば通研から1人参加

○ICT ちば

- ・2月4日（火） 3人参加

今後の予定

- 3月15日（土） 耳の日まつり
- 3月16日（日） 労働班学習会
- 3月22日（土） TMG 学習会
- 3月23日（日） 役員会
医療班学習会
- 3月25日（火） 広報部会議
- 3月28日（金） サポーターズ印刷日



お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.cocacn.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。



○ちば通研へのお問い合わせ

ちば通研への連絡は下記のアドレスへ。

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切は3月15日(土)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)

会費の納入のお願い

2025年度会費を受け付けています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。



<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>

あ と が き

ちば通研だよりは通常12頁立てです。今
まで地域班通信を2頁のスペースに収める
ために、原稿が多いときは文字を小さくし
てぎゅう詰めにしていましたが、各班から
のお便りを読むのを楽しみにしているのに
読みにくいとお声もあり、今月号の地域
班通信は頁数を増やしてみました。会員の
皆様の忌憚のないご意見・ご感想をぜひお
寄せください。お待ちしております。(K)

手話を頑張るぞ!と思える場所がありま
す。友人と最低でも月1回は行こう!と決
めている場所・・・それは流山市にある森
の手話カフェです。行くとばいに出会いがあ
り、手話での交流がとても楽しいです。お
料理はとても安いし美味しい!勿論コーヒ
ーやデザートも美味しいです。行ってみた
いけれど一人ではちょっと・・・と思っ
ている方は是非一緒しましょう!!(YK)